



『わたしは、宇宙にただひとり』～住田高校の魅力に迫る！～

6月の末から7月の間、来年度入学生募集のために各中学校への学校説明会を行ってきました。そこでは今年度の新しい取り組みについてもお話してきました。今回はその内容について皆さんにご紹介いたします。



コグトレとは、認知機能強化を狙いとしたトレーニングのことです。認知機能は、すべての行動の基盤であり、学習面における土台！しっかり鍛えることで、学力はもちろん、生活面の質を上げることもできます！

スタディサプリ の話

プロ講師の授業動画を、いつでも好きな時間・場所で視聴することができるアプリのことです。普段の予習復習やテスト対策、進学に向けた受験対策に効果的です！

今年度後期より、新しく「自分または自分たち」が好きなこと、やりたいことを部として立ち上げて活動します。大会などへの出場も可能、健康増進や楽しむことを目的とした活動も可能です。習い事を生かして大会などへ出場することも本校の部活動として認めています。生徒の「やりたい」を生かす部活動を目指す活動です。

こうしたものをはじめ、住高には魅力的な取り組みがたくさんあります。これらを思いきり活用していくことで、能力UPを目指しましょう。

「コグトレ+スタサブ」の活用：学習面での土台づくり(コグトレ効果)と動画視聴による学力の定着(スタサブ効果)が得られる。質問があれば、先生やコーティネーターさんたちで随時受け付けています！気軽に質問してください。

「海外派遣事業」の活用：英検受験で町からの補助が受けられます。海外派遣を希望し、その準備として英検合格も目指せば、資格取得とグローバルな視野をゲットできるかも！？

「総合運動部 & 文化部」の活用：やりたい部活を立ち上げる・・・そんな経験ってなかなかできるものではありません。「主体的に行動する」経験を積み上げていきましょう！

海外派遣事業

今年2月に久しぶりに実現した派遣事業。今年度の募集は10月ごろになりそうです。前回同様、自己負担金が5万円で済むようにしたいと考えています。希望のある人たちは、この夏のアルバイトで費用を稼いでみては？

総合運動部 & 総合文化部 の話

夏の高校野球、我らが大船渡東・住田連合！

第105回全国高校野球選手権記念岩手大会が7月7日に開幕しました。

本校野球部は、大船渡東高との連合チームとして、9日に来たぎんボールパーク第3試合で同じ沿岸地区の釜石商工との対戦となりました。先攻の大船渡・住田は三回、2死から2番・佐々木君が中越三塁打を放つと、続く3番・齊藤君の適時打で先制に成功。六回に2点を追加した大船渡東・住田は七回、無死二塁から齊藤君が大会第3号となる左中間への本塁打を放ち点差を広げました。投手陣は、先発・紺野君から佐々木君への継投により、相手に反撃の隙を与えず、見事、連合として初めて臨んだ夏の舞台で貴重な1勝を挙げることができました。

応援団も大船渡東高との連合でしたが、心をひとつにしての応援が球場に響き渡りました。皆で勝ち取った1勝であったように思います。(大船渡東・住田 7-2 釜石商工)



2回戦は一関第二高校に惜しくも敗退・・・よく頑張った！

夏の大会7日目、14日に花巻球場にて2回戦が行われました。第1試合ということで、応援団も早いところでは朝の5:30からの出発、この日も大船渡東高と一緒に一丸となって応援しました。

相手は1回戦で花巻南を逆転で勝ち上がってきた一関第二高校。

昨年の秋の県大会ベスト4の強豪です。攻めでは両チーム同数の8安打、守りでは先発・紺野君、2番手・齊藤君が粘り強い投球を見せてくれたものの、4-6で惜しくも敗退となりました。敗れはしましたが、「楽しく全力プレー」を貫く姿には

感動を覚えました。日報の記事には「ここまで一緒にやってきてくれてありがとう」との感謝の言葉がありました。全力で取り組んできたからこそ、周りへの「感謝」が生まれたのだと思います。野球は終わりましたが、次の目標に向けてのさらなる頑張りに期待しています。



住高ハウス〇〇 まるまる通信

住高ハウスの
情報をまるっと
お届け！

2024年度 住田高校 新入生募集ポスターが完成しました！

私たちは、ヒト(教師・コーディネーター・生徒・地域)住田町(環境・文化風土・商品サービス)高校(環境・校風・部活)など、住田高校を取り巻く資源に着目して、その特徴を出し合って、住田高校の価値を検討してきました。

その結果、住田高校は、どんな個性も受け入れ、自分で見つけた新しいチャレンジを後押ししてくれる環境があることが強みだという共通認識を持つに至りました。

今年度は、県外留学生募集(地域みらい留学)にも力を入れることから、気仙管内だけでなく、都市部の中学生にも響くような、高校の価値を表現できるポスターを作ることとなりました！

■キャッチフレーズ

教育コーディネーターのほか、マーケティングを手がける企業である株式会社ベストインクラスプロデューサーズ(BICP)の方々とともに、キャッチコピーや、ポスターレイアウトのイメージを出し合うワークショップを実施しました。「人間力をあげる」「成長度 No. 1」「青春のお手伝い」「席、空いてますよ!」など、さまざまなアイデアが生まれる中、生徒の個性を大事にしていることが伝えられる「わたしは、宇宙にただひとり。」に決定しました！

■レイアウト

令和3年、2年と過去にもポスター制作を担当した、一般社団法人 SUMICA さんに依頼しました。生徒一人一人の個性が光るような写真を並べるレイアウト案を採用しました。



■6/22(木)ポスターお披露目会 校長先生と住田町教育委員会教育長に、ポスター完成を生徒がご報告。

「1人1人の個性が星のように輝く良いポスターだ」

「笑顔だけでなく、真剣な表情もまた良い。その生徒の魅力がより伝わる」と参加生徒は感想を教えてくださいました！



■5/31(水)ポスター撮影当日 特別に制作の裏側、オフショットも掲載！

住田町でも撮影活動を展開している東京在住のプロカメラマンである田頭真理子さんが担当。

モデル生徒には、「自分らしさ」を引き立たせるためのアイテムを持参してもらいました。

部活、趣味、自分なりの癒しなど、多様なものが集まり、それぞれの個性を引き立たせる脇役となっています。

撮影場所は、教室・体育館・パソコン室・廊下・グランド・格技場など、それぞれのアイテムや個性を鑑みて決定。12名の生徒を60分で撮る、というタイトなスケジュールのなか、生徒たちの真剣な眼差しをうまく引き出し、動きのあるショットを撮るなど、田頭さんの腕が光るものとなりました。



国際交流×レクデー6/13(火)中間テスト最終日は、半日で授業が終わるので、午後の時間を有意義なものにすべくレクデーを開催しました！今年度から住高ハウスで新たに取り組んでいる国際交流。

フィリピン・台湾・香港からいらしたゲストと一緒に道の駅「ぼらん」でランチ、種山ヶ原でクッブを楽しみながらフラットに交流♪年代も国籍も超えた充実の時間となりました！

